

## 株式会社ファーストリテイリング

# グローバルな社会課題に応える世界のアパレル企業 「服のチカラを、社会のチカラに。」

ファーストリテイリングは「服のチカラを、社会のチカラに。」というサステナビリティステートメントを掲げ、サステナビリティを事業戦略の中核として位置づけている。ビジネスを支える「人 (People)」「地球環境 (Planet)」「地域社会 (Community)」の各領域における課題を解決するとともに、サステナビリティに対して非常に意識の高いミレニアル世代の視点など、消費者の意識の変化を機会として捉え、新たな価値創造を目指している。

SDGsやESGは、サステナビリティの各課題に対し、本業であるビジネスを通して対応すべきという社会からの要請であり、その要請に応えていくことが、将来的な企業価値の向上に繋がると考えている。ESGへの対応は、主に投資家を対象としてはいるものの、実質的には取り組みの外部評価として一般的に引用されており、あらゆるステークホルダーのニーズに応えるため、また、サステナビリティ活動とその情報開示がグローバル水準を満たすものであるかを確認するためのベンチマークとして捉えている。

同社の特徴は、顧客への訴求とESGを軸に多角的に情報開示を進めていることである。サステナビリティレポートは多様なステークホルダーにとって取り組みの全体像がわかりやすいように簡略化し、詳細かつ専門的な情報はウェブサイトやデータブックで公開している。例えば、「People」の領域では、人権デューデリジェンスの実施やダイバーシティの推進を行うとともに、取引先工場に対するサステナビリティ監査の結果や主要取引先工場リストを開示するなど、業界の課題に対応してきた。近年では、CHRB (Corporate Human Rights Benchmark : 企業人権ベンチマーク) に基づく詳細な情報開示にも取り組んでいる。「Planet」の領域では、ユニクロのダウン商品の回収・リサイクルや、リサイクルポリエステルを活用など、商品を通じたサーキュラーエコノミーへの対応に着手し顧客に訴求する一方で、CDPなどを通じた投資家向けの情報開示も行っている。「Community」の領域では、特に、自社商品の回収・寄贈を行う「全商品リサイクル活動」に継続的に取り組んでおり、届けた服がどのように役立てられて

いるかをわかりやすく発信している。さらに、LBGガイドンスマニュアル<sup>7</sup>に基づき、コミュニティ投資総額やその内訳について初めて開示を行い、投資家からの期待に応えるための取り組みも行っている。

ESGに積極的に対応してきた同社が課題として挙げるのが、評価指標の増加に対し、どう効率的に対応するかである。プラスチック問題やジェンダーなどの個別テーマでグローバルベンチマークを作成する動きがあるが、新しいテーマについて企業に情報開示を求める際には十分な指針の提供を望んでいる。また、各企業のビジネスモデルや業種特性を理解したうえでの質問の設計と企業間比較にも期待している。

同社は、SDGsやESGを一つのベンチマークとして捉えつつも、サステナビリティに関する国際的な議論やその主流をなす団体とも積極的に対話を行い、また、国際的な業界団体への加盟を通じて、グローバルな情報収集に努め、取り組むべき活動や開示すべき情報の網羅性・整合性の担保に努めるとともに、服のビジネスを通して、社会の持続的な発展に寄与する取り組みを強化していく方針である。



「全商品リサイクル活動」の様子

<sup>7</sup> LBG (London Benchmarking Group) は、企業のコミュニティ投資額とその効果を測定するためのグローバル基準を提供するネットワークであり、ESG評価においても、LBGガイドンスマニュアルの使用が推奨されている。